

報道関係各位

三菱地所株式会社

4年振り！GWに世界最大級のクラシックの祭典「ラ・フォル・ジュルネ」と連動
大人も子どもも楽しめる無料クラシックコンサートの音色が丸の内エリアに響き渡る10日間
**「ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2023
丸の内 エリアコンサート」開催**

開催期間：4月27日（木）～5月6日（土）／開催場所：丸ビル、新丸ビル、丸の内オアゾ 他

三菱地所株式会社は、4月27日（木）～5月6日（土）の期間中、丸の内エリア（大手町・丸の内・有楽町）にて、「ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2023 丸の内 エリアコンサート」を開催します。

今年は、東京国際フォーラムを中心に4年ぶりに開催される「ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2023（以下「LFJ」）」と連動し、期間中に丸の内エリア内8カ所の会場で約60公演の無料クラシックコンサートを実施します。LFJの今年のテーマである「Beethoven — ベートーヴェン」の下、国内で活躍されるプロの演奏家や東京藝術大学の学生たちによる演奏を、誰でも気軽にお楽しみいただけます。また、丸ビル1階マルキューブでは、4月27日（木）～5月2日（火）の間、来街者が自由にピアノを演奏いただけるよう、華やかな装飾を施したアートピアノを開放します。さらに、4月27日（木）には、オープニングイベントを開催予定です。

2019年には約5万人以上を動員したエリアコンサート。丸の内エリアが4年ぶりにクラシック音楽の音色とともに、ベートーヴェンの多彩な世界に包み込まれます。丸の内エリアでは、今後もさまざまな文化や芸術のイベント・情報発信を展開し、まちのさらなる活性化を進めてまいります。



▲過去開催時の様子

「ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2023 丸の内 エリアコンサート」のポイント

- 4年振りに「ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2023」と連動し、エリアコンサートを開催
- 無料のクラシックコンサートをエリア内8カ所の会場で約60公演実施
- 4月27日（木）にはゲストをお招きしたオープニングイベントを開催

オープニングイベントについては、4月中旬頃ご案内予定です。

<本件に関する一般の方のお問い合わせ先>

丸の内コールセンター TEL：03-5218-5100（11:00～21:00）

※但し、日曜・祝日は20:00まで（連休の場合は最終日のみ20:00まで）

「ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2023 丸の内 エリアコンサート」開催概要

開催期間：4月27日（木）～5月6日（土）

開催場所：丸ビル1階マルキューブ、新丸ビル3階アトリウム、丸の内オアゾ1階^お^お広場、丸の内ブリックスクエア 一号館広場、MY PLAZA アトリウム、丸の内仲通り（有楽町）、大手町プレイス サンクンガーデン、大手町仲通り

主催：三菱地所株式会社

協賛：エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社／明治安田生命保険相互会社（五十音順）

協力：ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2023 運営委員会

一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会／東京藝術大学／

一般社団法人 東京21世紀管弦楽団／日奥文化協会／特定非営利活動法人 街角に音楽を／丸の内フェスティバルシンガーズ

ピアノ協力：株式会社河合楽器製作所

主な出演者のご紹介

5月3日（水・祝）

【丸ビル1階マルキューブ】

菊地裕介（ピアノ）

東京生まれ。高校2年時に日本音楽コンクールで第2位入賞。高校卒業と同時に渡欧し、パリ国立高等音楽院、ハノーファー音楽大学でピアノ演奏研究に加え、作曲法や歌曲伴奏など、多専攻にわたり研鑽を積む。加藤伸佳、ジャック・ルヴィエ、アリエ・ヴァルディの各氏に師事。マリア・カナルス第1位、ジュネーブ第3位等、数多くの国際コンクールに上位入賞後2007年帰国。バロックから現代まで広いレパートリーで活発な演奏活動を行い、ベートーヴェンピアノソナタ全集（オクタヴィア・レコード）などCD録音多数。東京藝術大学をはじめ5つの音楽大学の講師を歴任し、現在は東京音楽大学専任講師、CJM神宮の杜音楽院（渋谷区）院長。



▲菊地裕介

5月4日（木・祝）

【丸ビル1階マルキューブ】＜名物！楽器紹介&トークと指揮者体験コーナー&演奏＞

エロイカ木管五重奏団

斉藤光晴（フルート） 最上峰行（オーボエ） 大成雅志（クラリネット） 井上直哉（ファゴット） 大森啓史（ホルン）

LFJエリアコンサートでは毎年人気を博す、実力派木管五重奏団によるコンサート。

斉藤光晴（フルート）

東京ソリスト、アンサンブルコレディエにソリストとして出演。宮崎国際音楽祭、北九州国際音楽祭に参加。また、東京シンフォニエッタメンバーとしてスペイン、ドイツ、フランス、エジプト、オランダの音楽祭参加。現在、日本フィルハーモニー交響楽団フルート奏者。

最上峰行（オーボエ）

ソリストとして、プラハ国民劇場管弦楽団、セントラル愛知交響楽団、東京交響楽団等と共演。レコーディングアーティストとして数々のミュージシャンの作品、ドラマ、映画等の録音に参加。現在、東京交響楽団オーボエ&イングリッシュ・ホルン奏者。

大成雅志（クラリネット）

カール・ライスターの国際マスタークラス（伊）に最年少で合格、その後ベルリンを中心にドイツ各地で研鑽を積む。現在、フリーランスプレーヤーとして、オーケストラに客員他、小澤征爾音楽塾、宮崎国際音楽祭にも参加。トレーナーや指導者としても活躍。

井上直哉（ファゴット）

北九州芸術祭、浜松国際管楽器アカデミー&フェスティバル等に出演。フィンランド・クフモ室内楽音楽祭受講生として度々参加、From Beethoven's Secret Garden 収録に参加。通奏低音を含めオーケストラ、吹奏楽などフリー奏者として多数出演。

大森啓史（ホルン）

第10回練馬文化センター新人演奏会オーディション優秀賞。1998年より1年間シカゴへ留学。現在、千葉交響楽団ホルン奏者、エマーノン・プラス・クインテットメンバー、ナチュラルホルン（古楽器）奏者としても活躍。日本ホルン協会常任理事。



▲左から、斎藤光晴、最上峰行、大成雅志、井上直哉、大森啓史

5月5日（金・祝）

【新丸ビル3階アトリウム】＜ピアノ連弾～変奏曲「親友デュオが描くベートーヴェンの親密」＞

山縣美季（ピアノ）

2002年生まれ。第89回日本音楽コンクールピアノ部門第1位及び野村賞、井口賞、河合賞、三宅賞、アルゲリッチ芸術振興財団賞受賞。第44回ピティナ・ピアノコンペティション特級ファイナル入選。NHK Eテレ「クラシック音楽館」、NHK FM「リサイタル・パッショ」に出演。東誠三、日比谷友妃子の両氏に師事。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校を経て、現在東京藝術大学宗次徳二特待奨学生として東京藝術大学4年に在学中。2022年シャネル・ピグマリオン・デイズ参加アーティスト。2022、2023年度ロームミュージックファンデーション奨学生。



▲山縣美季

森永冬香（ピアノ）

全日本学生音楽コンクール中学校の部全国大会入選。ピティナ・ピアノコンペティション Jr.G 級、Pre 特級全国大会入選。第46回ピティナ・ピアノコンペティション特級銅賞。Imola Piano Award 2019 A カテゴリー（17～25歳）第2位。東京芸術センター記念ピアノコンクール銀賞。Imola Summer Piano Academy（イタリア）、浜松国際ピアノアカデミー2021に参加。



▲森永冬香

5月6日（土）

【MY PLAZA アトリウム】＜キッズ共演企画／ミニコンサート「春」「魔笛」「田園」＞

北村明日人（ピアノ）

第46回ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ、あわせて聴衆賞、文部科学大臣賞、スタインウェイ賞を受賞。第17回東京音楽コンクールピアノ部門第2位。第9回ショパン国際ピアノコンクール in Asia アジア大会金賞。2020年、Rahn Musikpreis（スイス）第1位。同年 Bruno-Frey-Stiftung（ドイツ）奨学生に選出される。東京フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団等と共演。



▲北村明日人

関連情報

ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2023



ラ・フォル・ジュルネは、1995年、フランス西部の港町ナントで誕生したクラシック音楽祭。毎年テーマとなる作曲家やジャンルを設定し、1日中、音楽に浸ることができるコンサートを展開します。2005年からは東京国際フォーラムで開催し、今年は4年ぶりの開催になります。今年のテーマは「Beethoven — ベートーヴェン」。交響曲やピアノ協奏曲、ピアノ三重奏曲、ピアノソナタなど傑作の数々をはじめ、ベートーヴェンへのオマージュ作品など、ラ・フォル・ジュルネならではの独創的なプログラムの数々をお楽しみいただけます。

開催概要

開催日：5月4日（木・祝）・5日（金・祝）・6日（土）

会場：東京国際フォーラム、大手町・丸の内・有楽町、東京駅、京橋、銀座、日本橋、日比谷

公演数：50公演

主催：ラ・フォル・ジュルネ TOKYO 2023 運営委員会

（三菱地所株式会社／株式会社東京国際フォーラム／株式会社 KAJIMOTO）

特別協力：三菱地所株式会社

○丸の内エリアのまちづくりコンセプト：「丸の内 Re デザイン」



丸の内
Re デザイン

三菱地所は、2020年以降の丸の内エリア（大手町・丸の内・有楽町）におけるまちづくりを「丸の内 NEXT ステージ※」と位置付け、“人・企業が集まり交わることで新たな「価値」を生み出す舞台”を創造していきます。「丸の内 Re デザイン」はその実現に向け、まちづくりのあり方から変えていくコンセプトワードです。

※始動リリース：https://www.mec.co.jp/j/news/archives/mec200124_marunouchinext.pdf